

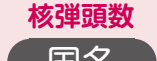



# 条約発効で見えてきたもの

核兵器禁止条約が発効しましたが、それによって今後、世界はどうなるのか？ 専門家のかたに核兵器の現状や、核兵器のない世界に向けた展望などをお聞きしました。

## 核兵器禁止条約の批准国等や 核兵器保有国の状況

	核兵器禁止条約に署名だけしている国・地域 (37 カ国・地域)
	核兵器禁止条約に署名、批准している国・地域 (51 カ国・地域)
	核弾頭数
	核保有国と事実上の核保有国

約5,800

アメリカ

中南米

グアテマラ、グレナダ、コロンビア、チリ、ドミニカ共和国、ブラジル、ペルー

アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、キューバ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントルシア、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ベネズエラ、ベリーズ、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ

※署名・批准はR3.1.14 現在。 ※国名は略称。

※核弾頭数は長崎大学核兵器廃絶研究センターHP (R3.1.12 現在) より。

※地形、国境及び核弾頭数の円は概要を示す形状としています。

## Q.2 核兵器禁止条約の発効で 世界はすぐに変わる？

条約発効は大きな一歩ではありますが、すぐに核兵器がなくなるわけではありません。理由の一つは、核兵器保有国などの大国が条約に参加していないこと。今年1月時点で51の国と地域が批准していますが、ほとんどが開発途上国という状況です。また、大国の中には、これ以上条約の参加国が増えないよう、援助打ち切りなどを盾に、開発途上国に圧力をかけている国もあります。さらに、国によって経済状況や核兵器への脅威も異なることから、核兵器に対する認識の温度差があり、国内的な優先事項も異なります。したがって、手放しにはまだ喜べません。

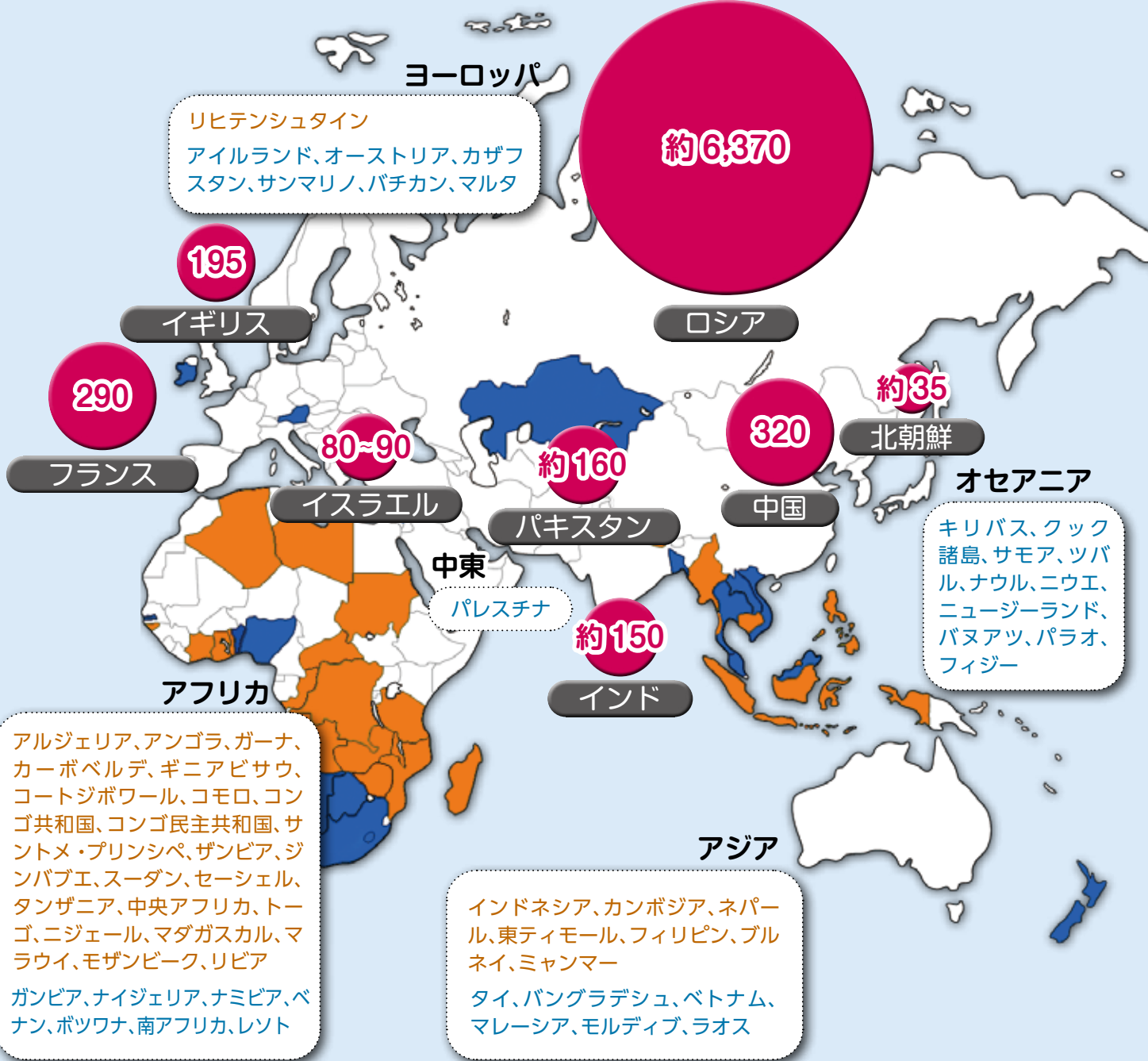
## Q.1 核兵器を取り巻く 現状は？

核兵器は現在、世界に1万3000発以上存在していて、そのほとんどはアメリカとロシアが保有しています。両国は、これまで互いに結んだ条約をもとに、核兵器を削減してきましたが、現在の条約（新戦略兵器削減条約（新START））の期限が2月までになっています。この条約が延長されるか否かは、今後注目すべきポイントの一つです。

長崎大学核兵器廃絶研究センター  
(RECNA)

副センター長 広瀬 訓さん





## 非人道性の訴えがますます重要に

**Q.3** これから日本は、世界は  
Q.4 どのようなに進む？

核兵器禁止条約は、まだ枠組みしか決まってい  
ないため、今年中に開催されるはずの締約国会  
議で、今後の具体的な実施方法について検討  
される予定です。日本は「核の傘」に入っており、  
条約への参加はしていません。しかし、核兵器で  
は一時の安全は得られても本当の世界平和は創  
れません。「核の傘」に頼るのは病気に例えると、  
根本的な治療をせず、その場をしのぐ対症療法  
を続けるようなものです。日本は、唯一の戦争  
被爆国として議論をけん引できる力があるはず  
です。条約に賛同していなくともオプゾバー  
として参加すべきです。

**Q.4** 市民社会として「長崎」が  
Q.5 できることは？

世界や日本政府の状況を踏まえると課題もあ  
りますが、この条約が発効したことで、核兵器そ  
のものに国際法違反という「悪の烙印」を押す  
ことができます。これには非常に大きな意義が  
あります。原爆では何万人というかたがたが亡く  
なりましたが、それぞれに大切な家族があり、明  
るい人生があったはずで、それが突然断ち切ら  
れました。私たち市民社会は、さまざま機会を  
捉えてこの非人道性を強調して訴え続けること  
が重要になります。長崎では、被爆者一人ひと  
りのストーリーをたどることが出来ます。これか  
らの世代の皆さんには、今まで以上に被爆者の  
声に耳を傾け、主体性をもって「自分たちがど  
う生きたいか」を考える力を身につけてほしい  
です。